Department of Clinical Laboratory, Kyoto University Hospital

検査項目情報 一次サンプル採取マニュアル

[0192diff / 1Z035]

Ver.13

1.一般検査 >> 1Z.その他の一般検査 >> 1Z035 細胞種類 [腹水]

細胞種類

[腹水]

differential, cell

連絡先: PHS 6570

カーダ

			_		
患者		<u>=</u>	I -	1 \	$\overline{}$
***	ш		レーノ	r J	L

検査結果に影響を与える臨床情報

白血球凝集がある場合, 白血球計数が不正確に低値となる場合があります. 血小板凝集, 赤血球溶血不良, 赤芽球, 赤血球凝集, 寒冷蛋白, クリオグロブリン, フィブリン, 巨大血小板等がみられる場合は, 白血球計 数が不正確に高値となる場合があります. 赤血球凝集, 小球性赤血球, 破砕赤血球等がある場合, 赤血球計 数が不正確に低値となる場合があります.

オーダー画面		

細別	包種類
[腹才	k]
	オーダーボタン名 細胞数・分画[腹水]
	検査予約
	削除
	至急オーダー
	不可
	検査オーダーに関する注意事項(患者受入不可基準を含む)

検	患者の検査前準備			
体				
採				
取				
	検体採取のタイミン	· グ		
	ラベル見本(検体)	(単項目オーダー時)	
	ホンハ゛ン テスト			
	イツハ゜ン.			
	腹水		I	
	尿検査室 7 3ml			

[腹水]

採取容器・検査材料

	採取材料情報				料情報
記号	添加物(キャップ色など)	採取材料	採取量	測定材料	必要量
フ	プレイン	腹水	3 mL		

採取容器について		
検体採取について		

採取後検体の取扱い

室温保存

検体搬送について

採取後ただちに搬送

[腹水]

採取検体の保存条件

经 休果能	保存:	条件1	保存:	条件2	保存	条件3
検体状態	温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
翌日保存不可						

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

再検査・追加検査の対応可能日数

検体採取当日のみ

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

[腹水]

結 果 報

検査機器

XN-1000(シスメックス)

検査所要日数

当日~1週間程度

まいこネット開示までに要する所要日数の目安

翌日~1週

検査部門・委託先

外来棟2階 尿検査室

検査結果報告について

細胞分画の結果報告前に目視確認を行うため,分類の困難な細胞が出現している場合には,報告までに1週間程度を要する場合があります.

生物学的基準範囲1- または 臨床判断値

期間				
	準値設定材料 <mark>腹水</mark>			
	検査方法 フローサ	ナイトメトリー法		
		男性	女性	単位
59	白血球	***	***	/ μ L
58	赤血球	***	***	$X10^*3/\muL$
59	単核球 (/μL)	***	***	/ μ L
52	多形核球 (/μL)	***	***	/μL
59	単核球 (%)	***	***	%
52	多形核球 (%)	***	***	%
53	好中球 (neutrophil)	***	***	%
51	リンパ球 (lymphocyte)	***	***	%
59	単球 (monocyte)	***	***	%
54	好酸球 (eosinophil)	***	***	%
55	好塩基球 (basophil)	***	***	%
59	形質細胞 (plasma cell)	***	***	%
59	その他 (others)	***	***	%

細	旳	猛	米百
孙四.	刀ピ	俚	枳

基準値情報		
緊急異常値		
鏡検時に異常細胞を認めた場合	<u></u>	
表. KINGの結果参照画面で	で赤背景・青背景で表示される緊急	急異常値
高値	低值	
高式体物社内		
電話連絡対応		

品
床
情
報

臨	臨床的意義
床	穿刺液が滲出性か,漏出性かを鑑別することは,その原因疾患を診断する上で重要である.
情	
報	
	異常値を示す病態・疾患

関連検査項目		
参考文献		

診療報酬

	区分	名称	点数
D419		その他の検体採取	
D419	2	胸水・腹水採取(簡単な液検査を含む。)	220 点

標準コード(JLAC10)

分析物			識別	
識別			測定法	

[腹水]

変更履歴

変更履歴

文書改訂日		
	制定	4/1/2008
	検査機器変更	9/5/2011
	平成28年度診療報酬改定	4/1/2016
	平成30年度診療報酬改定	4/1/2018
	緊急検査室の機器更新 (LABOSPECT 008 α) に合わせて内容を見直し	12/14/2018
	令和2年度診療報酬改定	4/1/2020
	採取名称部分に検体搬送先を印字	12/9/2021
	検査場所を変更	6/28/2021
	検査機器変更	1/4/2022
	令和4年度診療報酬改定	4/1/2022
	受入不可基準などについて全面改訂	12/1/2022
	緊急異常値を追加	8/1/2023
	令和6年度診療報酬改定	6/1/2024
	文書改訂日	制定 検査機器変更 平成28年度診療報酬改定 平成30年度診療報酬改定 緊急検査室の機器更新 (LABOSPECT 008 α) に合わせて内容を見直し 令和2年度診療報酬改定 採取名称部分に検体搬送先を印字 検査場所を変更 検査機器変更 令和4年度診療報酬改定 受入不可基準などについて全面改訂 緊急異常値を追加

[腹水]

変更履歴					
Ver.	文書改訂日	変更内容	変更適用日		
			_		
			_		
•					
•					
			_		
-					

Last Updated: 12 Feb. 2025, 12:00

https://clinical-lab.kuhp.kyoto-u.ac.jp/reference/item/0192diff.html